



3月 ことりグループだより



2021.3.1

この1年、はじめはお部屋に入ることにはドキドキしていたお友だちも生活の中でお相手さん、グループのお友だちと一緒に過ごすことで安心、楽しいに変わりました。行事ではお互いにお相手さんがいるから頑張ろうとする姿もありました。子ども達から「これしたい!」「〇〇ちゃんどこいった?」と自分の思いを言葉に出してくれる姿には大きくなったなあと感じています。そんな子ども達と笑って泣いてときには喧嘩して一緒に過ごせたことがとても楽しい思い出になったと思います。

このことりグループで過ごすのも残り一ヵ月となりましたが、最後までみんなで楽しんでいきたいと思っています。

(楽器たのしいね)

リズムあそびを楽しんでいることりグループさん。お部屋ではうさぎさんに好きな楽器を作りました。うさぎさんを作りながら、「楽器したい!」「この楽器がいい」とホールで楽器を演奏することを楽しんでいます。3/11のお別れ会で他のグループのお友だちにもみてもらおうと思っています。



「もうすぐ1年生!」～ゆりぐみ～

「どんなゆりさんになりたい?」と言って子どもたちと話し合った春。あれからもうすぐ1年が経とうとしています。「かっこいいゆりさんになる!」と言って色々なことに挑戦し、園で一番大きくなったことを感じながら過ごしてきました。秋には就学時検診でそれぞれの小学校に行く機会がありました。そのあとに「どんな1年生になりたい?」と聞くと、期待でワクワクする気持ち、ちょっぴりどきどきする気持ちを話してくれました。子どもたちの心にはいつでも頑張りたい気持ちがあります。しかし、自信の無さから頑張りたい気持ちを持続させることができないときもありました。そんなときには一度立ち止まり、自分がどうしたいのかを考え、そのためにはどうするのかを自分で決めて次に進めるように、私たち保育者は「ゆりさん」として求めてきました。がんばれたこと、がんばれなかったこと、失敗したこと、うまくいったこと、くやしかったこと、嬉しかったこと…。こうして経験したこと・感じたことは子どもたちの力になって、自信につながっていくと思います。

お相手さんや保育者のお手伝いをしてくれる姿は頼もしく、「ありがとう」と言うと、照れくさそうに「どういたしまして!」という姿はかわいくて心を温めてくれます。「やればできる」「みんなならできる!」自信をもって1年生になってください。

残りの園生活も、お友だちやお相手さん保育者と一緒に、ゆりさんらしく楽しく過ごしていきたいと思っています。

「ゆりさん、ありがとう!」

4月からずっと一緒にいて、ばらさんはベッド運びやテーブルふきん、お当番を教えてもらったり、すみれさんやさくらさんにはたくさんお手伝いをしてくれた大好きなゆりさんに『ありがとう』の気持ちを込めてプレゼントを作っています。すみれさんは、紙粘土を使って、さくらさんははさみ切りや色塗り、ばらさんはぬいさしや色塗りで作っています。「喜んでくれるかな」「好きな色は何か」と話しながら作っています。またお別れ会で歌う、うたも練習しています。歌っていると淋しくなって悲しい気持ちになっているお友達もいますが、残り1ヶ月ゆりさんと一緒に笑顔いっぱいの思い出を作りたいと思います。